

いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol.10 冬季間に結実確保のための準備を行おう!

昨年は霜害や天候不順により結実不良が目立った年。
結実確保のために、マメコバチの管理・増殖をしっかり実施！
今年は沢山成らせよう！

- ① 園地からヨシ巣を回収 ② 繭洗浄を実施しよう
- ③ 営巣用のヨシを準備しよう



1 ヨシ巣の確認をしよう。ヨシ！

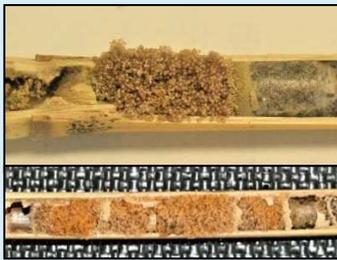
- 園地からヨシ巣を回収 (4年以上前に設置したヨシ → 焼却処分)
- ヨシ巣を観察してみると・・・

 - 完成巣：入り口に蓋があるもの
 - 未完成巣： " " ないもの



巣は天敵に侵されている場合あり！ → 天敵を減らす繭洗浄を実施

- ・完成巣：天敵は「コナダニ類」が多い(カツオブシムシはほとんど入らない)
- ・未完成巣：天敵は「コナダニ類」に加えて「カツオブシムシ」も多い



コナダニ類



カツオブシムシ

巣をそのままにしておくと

- ・死んだ繭の後に入っているハチは、ヨシから出てこられずに死亡する
- ・年々天敵が増加し、マメコバチが少なくなってくる

2 繭洗浄をやってみよう

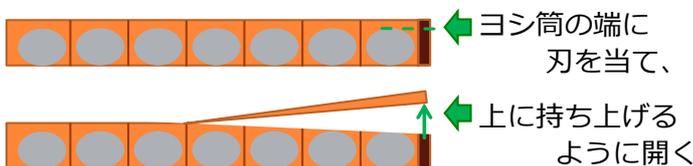
※3月上旬頃までに洗浄しよう

- ① 「未完成巣」を切開して繭を取り出し洗浄
- ② 未完成巣を確認してコナダニ類の被害が多い場合は、「完成巣」も繭を取り出して洗浄

使用道具：接ぎ木ナイフ、ボウル、ザル(2mm目程度、ステンレス製)、網しゃくし、刷毛、新聞紙、冷水(水場)、紙箱(繭保管用)
作業場所：寒い所(暖かい場所で作業するとハチが休眠から覚めてしまう)

○洗浄方法

- ① 巣を接ぎ木ナイフで切開 → 繭を取り出す



(※) 切開後のヨシと天敵の被害巣は焼却処分



(裏面(2枚目)に続く)

- ② 繭をボウルに移し、冷水を入れてかき混ぜる
 (※) 繭は水に浮き、土は沈む



- ③ 繭を網しゃくしですくい取り、ザルに入れる
 ボウルに残った水と土は捨てる



- ④ ザルに入れた繭が隠れる程度冷水を入れ、繭を網にこすりつけるように優しく刷毛で洗う



③と④を
3回繰り返す

(※) 網しゃくしとザルは、天敵がうつらないように洗淨・交換しながら使用する

- ⑤ 新聞紙に洗淨繭を広げ、冷暗所で2日程度乾燥
 (乾燥中のネズミ食害に注意)
 乾いたら紙箱に入れ、冷蔵庫で保管



3 洗淨繭の設置と新しいヨシの準備

○ 洗淨繭の設置 (春)

- ・ 保管用紙箱の側面にハチの脱出穴を開ける



保管用箱の側面に鉛筆の太さ程度(約7mm)の穴を複数開ける

- ・ 発芽10日後頃、巣箱内に設置(花芽が割れる直前頃)



○ 冬の間新しいヨシ(補充用)を準備

- ・ 洗淨の有無にかかわらず、毎年ヨシを補充する
- ・ 補充する量は、完成巣の本数の3~5倍程度(毎年補充しながら少なくとも3年に一度は全てを更新)
- ・ 内径5~7mm、片面9~15cmのヨシが良い



- 〔 細い → 雌の比率低くなる 〕
- 〔 太い → 営巣率低下、他のハチが営巣 〕



太いヨシに営巣したドロバチ

目指そう豊作、高品質！防霜対策も見直そう！

村山総合支庁農業技術普及課 ・ 西村山農業技術普及課 ・ 北村山農業技術普及課

TEL 023-621-8270

TEL 0237-86-8215

TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会(事務局:農林水産部園芸農業推進課・農業技術環境課)